

分類構造や統計への影響が大きいコードの削除・移動・追加や割り当てコードの大幅な修正は、基本的には3年毎の改正の際に適用されます。また、提案には特に十分な根拠が求められますのでご留意ください。

(記載事項の説明及び記載例)

ICD URC 提案票 (日本語) (案)

例えば、既存のICDコードの疾患が古い概念でコードとして不要と考えられるため削除すべきと考えられる場合(他にコードの追加等を要さないもの)。

必ず、別添2-2 (英語) も併せて作成してください。

申請年月日	平成 年 月 日
担当	
関係コード	
関係	
提案内容の概要	<input type="checkbox"/> 既存コードの削除 <input type="checkbox"/> 既存コードの移動 <input type="checkbox"/> 新規コードの追加 (既存コードの細分) <input type="checkbox"/> その他
具体的な提案内容	<input type="checkbox"/> 既存のコードタイトル (分類名) の修正 <input type="checkbox"/> コードに含まれる傷病名等の追加 (選択: 内容例示の包含用語/除外用語/索引の用語) <input type="checkbox"/> 既存の傷病名等に割り当てられているコードの修正 (選択: 内容例示の包含用語/除外用語/索引の用語)
提案理由	

右の事例のように、既にICDコードがあるけれども(例ではI84)、疾患概念として適切な位置でないため修正が必要と考えられる場合など。

(例)
 I83 下肢の静脈瘤
 I84 痔核
 I85 食道静脈瘤
 ↓
 K63 腸のその他の疾患 (略)
 K64 痔核
 K65 腸膜炎

既存のICDコードについて、一般的に使用される名称が変わってきている場合や名称を適正化することによって概念がより適切に捉えられるようになるため英語のコードタイトルの修正を要する場合など

(例)
 C81 ホジキン病 → C81 ホジキンリンパ腫

当てはまる選択肢がない場合や選びにくい場合は、「その他」を選択肢、詳細は「具体的な提案内容」にて御説明ください。

既存のコードが大まかな概念であるところ、より詳細な細分コードが必要と考えられる場合や新しい疾患概念が確立したために既存コードがなく、新たなコードが必要な場合など。

(例)
 K64 痔核
 ↓
 K64 痔核
 K64.0 第1度痔核
 K64.1 第2度痔核
 ..(略)..
 K64.9 痔核, 詳細不明

既存のコードに含まれる傷病を明確にするために例示を追加する場合など

(例)
 K64.0 第1度痔核
 脱肛を伴わない痔核(出血性)
 K64.1 第2度痔核
 脱肛を伴わない痔核(出血性)

内容例示の既存の例示用語や索引の用語等に振られているコードが間違っており、修正が必要な場合など

(例: 第3巻 索引)
 痔核NOS K64.0 ← 間違え
 ↓
 痔核NOS K64.9

なぜ上記提案のような改正・修正が必要かについて医学的・公衆衛生的側面等から御説明ください。提案の根拠としてURCに提示されます。

裏面に続く

必ず、別添2-2 (英語) も併せて作成してください。

エビデンス	疾患の概念・定義	
	症状	
	病因	
	臨床所見	
	その他	エビデンスの各項目では、基本的な疾患概念や公衆衛生上の重要性など御提案を支える種々の情報を御記入ください。御提案をWHOや各国に対して主張していく際に活用させていただきます。
	(基礎疾患・合併症・予後等の情報、診断基準や治療法の有無、関連指針)	